



沢はナメ状で、こげがついている。岩は青かった。F₂7mを直登すると、しばらくは河原歩きとなった。

1時間半ほど歩いた所で二俣となり、右に入る。すぐのF₃3mを越えると、もう水も少なくなり、沢も狭くなってきた。騒々しいアブもいなくなったが、オニヤンマがやけに多い。小滝とナメを越えて少し歩いてから、滝の沢への下降が楽のように、右の支沢に入る。ヤブこぎ5分で尾根に出た。

(記・)

[タイム] 小瀧生川出合(8:10)→二俣(9:30)→遊行終了(10:45)→尾根(10:50)

叶津川支流小滝沢 1995年7月30日

尾根から下り始めると、すぐ湿原に出る。ミスバショウが生えていた。小沢が2本合流すると、滝が連続するようになった。

F₄約10m 3段滝がこの沢最大の滝で、クライミングダウンする。このあとも小滝を次々に下り二俣へ。左俣の方が水量は多かった。

二俣から先も次々に小滝がかかる。この沢は名前の通り小滝の連続する沢である。次の小滝群を降りナメを過ぎると支沢が2本合流し、河原状となって、叶津川まで続いていた。叶津川対岸の林道に上がり、今日の行動を終えた。

(記・)

[タイム] 尾根(9:25)→叶津川出合(11:10)

叶津川支流葡萄沢 1995年7月30日

車で送ってもらい、叶津川にかかる橋より少し下った地点から、対岸の葡萄沢に入る。沢幅は狭いが、水量は比較的多い。遊行を始めるとすぐにF₁4mと小滝があり、先が楽しみ

